

[研究会報告]

手のひらに、小児科医を。
—オンライン医療相談「小児科オンライン」の取り組み—
筆頭著者 橋本 直也¹⁾

1) 株式会社 Kids Public

要 旨

「小児科オンライン」は、スマートフォンから小児科医へ相談ができるオンライン医療相談事業である。毎日 24 時間相談を受け付け、24 時間以内に小児科医より一問一答形式で返答する「いつでも相談」と平日 18 時～22 時にスマートフォンから 10 分間、小児科医へリアルタイムに相談が出来る「夜間相談」の 2 つの相談方法を持つ。夜間相談では、メッセージチャット、テレビ通話、音声通話のうち利用者の希望する方法での相談が可能となっている。「小児科オンライン」には、育児相談から受診相談まで幅広い相談が寄せられている。姉妹事業に「産婦人科オンライン」があり、両事業で情報を共有することで、産前から産後までのオンライン上の切れ目ないケアを実現している。相談対応のほか、小児科医が執筆した医療記事「小児科オンラインジャーナル」の定期的な配信やライブ配信による情報発信を行っている。本事業は福利厚生や住民サービスとして約 80 の企業や自治体に導入されており、利用者は無料で利用できるようになっている。現在、170 名の産婦人科医、小児科医、助産師が相談員として登録しており、日本全国から寄せられる相談に対応している。オンラインで閉じない運営を意識しており、育児支援など適切な対面サポートが必要と考えられる利用者が見つかった場合は、個人情報の同意を得た上で居住自治体へ連絡をし、情報連携を行っている。本発表は、小児領域のオンライン医療相談に関する知見の蓄積が乏しい現状に対し、「小児科オンライン」のこれまでのデータをまとめ今後の小児医療への貢献の可能性に関して示唆を与えることを目的とする。感染性疾患中心の時代から非感染性疾患中心の時代に疾患構造が変化した今の日本の小児医療において、オンライン医療相談が果たしうる役割の可能性、これまでの事業実績、寄せられる相談の内訳、利用者アンケートの分析結果、コロナ禍における相談の特徴などをまとめる。

キーワード：オンライン医療、オンライン医療相談、遠隔健康医療相談